



－技術シンポジウム「社会インフラを守る」を開催－

概要

高度経済成長期に建設された構造物は老朽化が進行し、修繕を必要とする構造物は増加していく一方です。また、平成 25 年は、メンテナンス元年とも位置づけられ、道路法等の一部改正によって、構造物の点検方法や頻度が定められました。

技術者にとって維持管理や修繕は、これまで以上に重要課題となっております。現在、どのようにメンテナンスが実施されているか、メンテナンスに必要な技術は何か。各業界の事例を紹介しながら技術者の技術交流の場になるよう、シンポジウムを開催します。

■内容

技術シンポジウム「社会インフラを守る」

- 【日時】 平成 26 年 10 月 27 日 (月) 13:00～17:00 (開場 12:30)
- 【会場】 アクロス福岡 地下 2 階 イベントホール (福岡市中央区天神 1-1-1)
- 【参加費】 無料
- 【定員】 300 名
- 【主催】 九州大学
- 【共催】 西日本高速道路株式会社 (NEXCO 西日本)
- 【後援】 国土交通省九州地方整備局、福岡県、福岡市、
公益社団法人土木学会西部支部、公益社団法人地盤工学会九州支部、
公益社団法人コンクリート工学会九州支部、一般社団法人九州橋梁・構造工学研究会、
一般社団法人建設コンサルタント協会九州支部

<プログラム>

- 13:00～13:05 開会
- 第一部「九州大学と NEXCO 西日本 産学連携の歩み」
 - 13:05～13:25 『九州大学と NEXCO 西日本 産学連携の歩み』
日野 伸一 (九州大学副学長・大学院工学研究院 教授)
 - 13:25～14:25 『高速道路技術伝承とじんしかい壬子会技術者の足跡』
前田 良刀 (九州大学連携教授
株式会社ドーユー大地 代表取締役社長)
- 14:20～14:40 休憩
- 第二部「社会インフラのメンテナンス」
 - 14:40～15:10 『JR 西日本における鉄道土木構造物の維持管理』
村田 一郎 (株式会社レールテック 取締役 構造物事業部長)
 - 15:10～15:40 『種子島宇宙センターとその設備保全について』
小林 清 (独立行政法人宇宙航空研究開発機構
宇宙輸送ミッション本部 鹿児島宇宙センター
射場技術開発室 技術領域リーダー(主幹開発員))
 - 15:40～16:10 『維持管理の現況と事例紹介』
渡邊 芳弘 (西日本高速道路株式会社 九州支社
保全サービス事業部 保全第二課長)

16：10～16：25 休憩

16：25～16：55 『コンクリート橋の凍結防止剤による塩害の現状と補修方法について』
佐川 康貴 （九州大学大学院工学研究院 准教授）

16：55～17：25 『産学学際研究による新技術開発の紹介』
貝沼 重信 （九州大学大学院工学研究院 准教授）

17：25～17：30 閉会

■申込方法

氏名・所属・電話番号・FAX・メールアドレスを明記の上、下記メールアドレスまたはFAXにてお申込みください。受付完了後に参加証をお送りしますので、当日受付にご提出ください。

※申込締切は10月20日（月）です。ただし、定員になり次第、締切ります。

Mail： m_itai_a@doc.kyushu-u.ac.jp / FAX：092-802-3391

【お問い合わせ】

大学院工学研究院社会基盤部門 板井

電話：092-802-3893、3391

FAX：092-802-3391

Mail： m_itai_a@doc.kyushu-u.ac.jp

技術シンポジウム

社会インフラを守る

高度経済成長期に建設された構造物は老朽化が進行し補修・修繕を必要とする構造物は年々増加していく一方で、社会基盤の維持管理や修繕は技術者にとってこれまで以上の重要課題となっています。

生活を支える社会インフラにどのようなメンテナンスがなされているか。メンテナンスに必要な技術は何か。

より安全・安心な社会づくりに向けて技術者間の技術交流のためのシンポジウムを開催いたします。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

日時/2014.10.27(月)13:00~ (開場/12:30)

場所/アクロス福岡 B2階 イベントホール (福岡市中央区天神)

*主催/九州大学 共催/西日本高速道路株

*後援/国土交通省九州地方整備局、福岡県、福岡市

(公社)土木学会西部支部、(公社)地盤工学会九州支部、(公社)日本コンクリート工学会九州支部

(一社)九州橋梁・構造工学研究会、(一社)建設コンサルタンツ協会 九州支部

定員300名 参加費無料

*プログラム

*土木学会 継続教育(CPD)プログラム認定/3.9単位

13:00~13:05 開会/挨拶

第一部/「九州大学とNEXCO西日本 産学連携の歩み」

13:05~13:25 『九州大学とNEXCO西日本 産学連携の歩み』

日野 伸一 (九州大学 副学長・大学院 工学研究院 教授)

13:25~14:25 『高速道路技術伝承と壬子会技術者の足跡』

前田 良刀 (九州大学大学院 工学研究院 産学連携教授
(株)ドーユー大地 代表取締役社長)

第二部/「社会インフラのメンテナンス」

14:40~16:10 『JR西日本における鉄道土木構造物の維持管理』
『種子島宇宙センターとその設備保全について』

村田 一郎 (株)レールテック 取締役 構造物事業部長
小林 清 ((独法)宇宙航空研究開発機構 宇宙輸送ミッション本部
鹿児島宇宙センター 射場技術開発室 技術領域リーダー)

『維持管理の現況と事例紹介』

渡邊 芳弘 (西日本高速道路株) 九州支社
保全サービス事業部 保全第二課長)

16:10~16:25 休憩

16:25~17:25 『コンクリート橋の凍結防止剤による
塩害の現状と補修方法について』
『産学学際研究による新技術開発の紹介』

佐川 康貴 (九州大学大学院 工学研究院 准教授)
貝沼 重信 (九州大学大学院 工学研究院 准教授)

17:25~17:30 閉会/挨拶

*都合により、プログラム内容が変更となる可能性があります

*申込方法/氏名・所属・電話番号・FAX・メールアドレスを明記の上、メール又はFAXにてお申し込み下さい。
受付完了後に参加証をお送りしますので、当日、受付にご提出ください。

*申込先・問合せ先/九州大学 板井 TEL:092-802-3893 又は 092-802-3391
メール:m_itai_a@doc.kyushu-u.ac.jp FAX:092-802-3391

*申込締切/10月20日(月) (ただし定員になり次第、締切ります)



九州大学



NEXCO
西日本

《講演者 略歴》



日野 伸一 (ひの しんいち)
九州大学 副学長・大学院 工学研究院 教授

1952年生まれ 愛媛県出身
九州大学大学院工学研究科土木工学専攻博士後期課程単位取得
同大助手、山口大学助教授、九州大学助教授を経て、現在に至る
2009～2011年、九州大学工学部長・大学院工学研究院長を併任
2012年より、九州大学副学長を併任

前田 良刀 (まえだ よしと)
九州大学大学院 工学研究院 産学連携教授
(株)ドーユー大地 代表取締役社長

1952年生まれ 鹿児島県出身 1973年、日本道路公団入社
1994～2009年、九州共立大学工学部教授、2005～2007年、九州共立大学大学院工学研究科長を兼任
西日本高速道路(株)本社 上席専門役、本社 理事・技師長を歴任し、2014年6月から現職
1991年、九州大学論文博士、2003年に九州大学課程博士を取得
2012年より九州大学大学院工学研究院連携教授も兼務



村田 一郎 (むらた いちろう)
(株)レールテック 取締役 構造物事業部長

1965年生まれ 京都府出身
1989年、西日本旅客鉄道(株)入社。新幹線管理本部施設課長、鉄道本部施設部担当部長
構造技術室担当室長を歴任し、2014年より現職へ出向。2014年、京都大学にて博士号を取得

小林 清 (こばやし きよし)
(独法)宇宙航空研究開発機構 宇宙輸送ミッション本部
鹿児島宇宙センター 射場技術開発室
技術領域リーダ(主幹開発員)

1967年生まれ 東京都出身
宇宙開発事業団(現 宇宙航空研究開発機構)入社
主に液体ロケット開発/打上関連の業務に従事
筑波大学大学院修了(工学修士)、技術士(航空宇宙部門)、PMPを取得

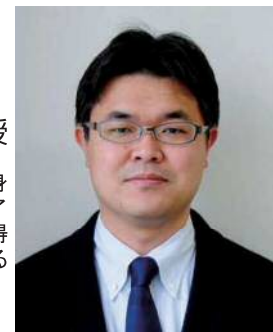


渡邊 芳弘 (わたなべ よしひろ)
西日本高速道路(株) 九州支社 保全サービス事業部 保全第二課長

1965年生まれ 兵庫県出身
鳥取大学大学院工学研究科修士課程修了後、1991年に日本道路公団入社
(株)高速道路総合技術研究所技術情報課長を経て、現在に至る

佐川 康貴 (さがわ やすたか)
九州大学大学院 工学研究院 准教授

1976年生まれ 愛媛県出身
九州大学大学院工学研究科建設システム工学専攻修士課程修了
同大助手、助教を経て、2010年10月より現職。2007年、博士(工学)の学位を取得
コンクリート構造物の長寿命化、品質向上に関する研究を行っている



貝沼 重信 (かいぬま しげのぶ)
九州大学大学院 工学研究院 准教授

1968年生まれ 愛知県出身
法政大学大学院工学研究科博士前期課程修了後、名古屋大学助手、名古屋大学にて博士号を取得
岐阜大学助教授を経て、現在に至る
鋼構造物一般の経年劣化とその維持管理に関して、学際的な視点から研究を行っている

— 申 込 書 —

■ 申込代表者			
■ 会社名 (所属先)			
■ 電話番号		■ FAX	
■ 参加申込人数	名(代表者含む)	■ メールアドレス	
■ 参加者氏名	①	②	③
	④	⑤	⑥

* FAXの方はこちらの申込書をご利用ください。(申込先/九州大学 板井 FAX:092-802-3391)